

病院看護師のための認知症対応力向上研修会 プログラム

1. 日時 令和 元年 8 月 2 日 (金) 13:00~17:15

令和 元年 8 月 3 日 (土) 8:50~16:00

2. 会場 先端医療開発センター

3. プログラム (予定)

《1日目 8月2日(金) 開始13:00 終了17:15 先端医療開発センター講堂

開始	終了	所要 時間	内容	講師(敬称略)
13:00	13:05	5	開会挨拶	看護部長 浅沼智恵
13:05	13:15	10	オリエンテーション	副看護部長 中盛祐子
13:15	14:35	80	1.認知症の原因疾患と病態・治療(認知症の原因疾患、病態) 5.(行動・心理症状、治療)	精神腫瘍学開発分野長 小川 朝生
14:35	14:45	10	休憩	
14:45	16:15	90	2.認知症患者に特有な看護上の課題と看護の基本(認知症ケアの歴史の変遷、認知症患者の特性と看護) 7.退院支援と地域包括ケア(認知症に係る保健医療制度の変遷、認知症患者の退院支援、関係機関の連携・調整)	筑波メディカルセンター病院 副看護部長 老人看護専門看護師 田中 久美
16:15	16:25	10	休憩	
16:25	17:10	45	4.コミュニケーションの方法及び療養環境の調整方法(認知症患者の安心と安楽をもたらすコミュニケーション)	筑波メディカルセンター病院 副看護部長 老人看護専門看護師 田中 久美
17:10	17:15	5	事務連絡	副看護部長 小林直子

《2日目 8月3日(土) 開始8:50 終了16:00》 先端医療開発センター講堂

開始	終了	所要 時間	内容	講師(敬称略)
8:50	10:00	70	5.せん妄の定義・せん妄の分類・原因・薬物療法・行動・心理症状(BPSD)、BPSDの種類と予防、対応方法	精神腫瘍学開発分野長 小川朝生
10:00	10:10	10	休憩	
10:10	11:10	60	5.せん妄の予防的ケア、対応方法 ロールプレイ	精神看護専門看護師 看護部長 前川智子 ファシリテーター(小川・中盛・小林)
11:10	11:40	30	身体的拘束の実施基準や鎮静を目的とした薬物の適正使用	精神腫瘍学開発分野長 小川朝生
11:40	12:40	60	昼食休憩	
12:40	14:10	90	6.認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援 3.入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術、実施、評価 8.家族への支援(認知症患者を介護する家族の現状と課題、家族への支援方法)	公益社団法人日本看護協会看護研修学校 認定看護師制度再構築準備室 認知症看護認定看護師 島橋誠
14:10	14:20	10	休憩	
14:20	14:35	15	国立がん研究センター東病院での取り組み	がん看護専門看護師 平野勇太
14:20	15:50	90	認知症ケアに関する手順書(アセスメントツール・標準看護計画・身体拘束基準)の作成のためのアセスメント能力向上のための演習	精神腫瘍学開発分野長 小川朝生 ファシリテーター(島橋・中盛・小林)
15:50	16:00	10	閉会挨拶・修了証書授与・事務連絡	副看護部長 関本翌子 副看護部長 中盛祐子

認知症ケア加算 2 の取得を目指した研修会の開催

【目的】

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基礎知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的なケアを習得し、医療機関内での認知症のケアの適切な実施につなげることを目的とする。

【対象】

病院で認知症のケアを行っている看護師 80 名

【日時】

2019 年 8 月 2 日（金） 8 月 3 日（土） 先端医療開発センター 講堂

【研修会の内容】

講義

1. 認知症の原因疾患と病態・治療（認知症の原因疾患、病態、症状、治療）
2. 認知症患者に特有な看護上の課題と看護の基本（認知症ケアの歴史の変遷、認知症患者の特性と看護）
3. 入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメント（治療および身体症状、入院前の日常生活、入院中の日常生活）と援助技術、実施、評価
4. コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法（認知症患者の安心と安楽をもたらすコミュニケーション）
5. 行動・心理症状（BPSD）、せん妄の予防と対応方法（BPSD の種類と対応方法、せん妄とせん妄予防のケア、対応方法）
6. 認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援（意思確認、意思決定の支援、権利擁護）
7. 退院支援と地域包括ケア（認知症に係る保健医療福祉制度の変遷、認知症患者の退院支援、関係機関の連携・調整）
8. 家族への支援（認知症患者を介護する家族の現状と課題、家族への支援方法）

演習

認知症ケアに関する手順書（アセスメントツール・標準看護計画・身体拘束基準）の作成ためのアセスメント能力向上のための演習

【要員】

講師（精神科医師、老年専門看護師、認知症看護認定看護師、精神看護専門看護師）

ファシリテーター（5 名）看護部の研修企画に関する検討会メンバーの専門看護師・認定看護師

事務 研修企画に関する検討会